

2023年度

# 環境活動レポート

【発行日：令和6年6月30日】

自分たちの職業を通じて、  
よりよい環境づくりに貢献しよう！

〔 2023年5月1日～2024年4月30日 〕



〒960-0671  
福島県伊達市保原町字東野崎 106 番地 5

**株式会社 山崎組**

TEL024-575-2330 / FAX024-575-5421  
E-mail : yamazakigumi@sirius.ocn.ne.jp

**エコアクション21 認証・登録番号 0007761**

次号発行：2025年6月

# 環境経営方針

---

## ◆ 基本理念 ◆

### 自分たちの職業を通して より良い環境づくりに貢献しよう！

かけがえのない地球の未来のために・・・  
それがたとえ小さな一歩であっても。

## ◆ 活動方針 ◆

当社は、事業を展開する中で、事業環境における環境への影響を理解し、自ら責任を持ち全社員一丸となって、エコアクション21環境経営システムを構築・運用し、継続的な環境への負荷の削減に努めます。

この以下の環境への取組を積極的に推進します。

- 環境関連法規の遵守
- 環境への負荷を軽減するための活動の実施
  - ① 二酸化炭素排出量の削減（節電、エコ運転の徹底）
  - ② 廃棄物排出量の削減（適正処理・再資源化の推進）
  - ③ 総排水量（水使用量）の削減（節水の徹底）
  - ④ 化学物質使用量の削減
  - ⑤ 環境配慮型商品購入の推進
  - ⑥ 建設現場における環境配慮型資材の選択・使用・推進（再生材料の利用推進）

◇ この環境方針は、教育や日常活動を通じて全従業員に周知徹底するとともに、環境保全に関する知識を高め、社内における環境保全状況の認識の向上を図ります。

制定日 平成22年10月 1日

株式会社 山崎組

代表取締役 山崎 操

# 会社概要

## 1. 会社名及び代表者

株式会社 山崎組 代表取締役 山崎 操

## 2. 所在地

福島県伊達市保原町字東野崎106番地5

## 3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 取締役業務部長 山崎 隆広  
TEL 024-575-2330(代)  
E-mail yamazakigumi@sirius.ocn.ne.jp

## 4. 事業の規模

従業員数 11名  
事務所床面積 231.45 m<sup>2</sup>  
倉庫床面積 218.38 m<sup>2</sup>  
創業 明治35年 3月 1日  
資本金 2,000万円  
売上高 ■648.303百万円 (令和5年度)  
建設業許可 福島県知事許可(特-3)第1127号  
許可の有効期間 令和3年 9月 1日～令和8年 8月31日  
建築工事業 とび・土工工事業 鋼構造物工事業  
塗装工事業 防水工事業 内装仕上工事業  
土木工事業 舗装工事業 水道施設工事業 解体工事業  
設計事務所 ㈱山崎組建築一級建築設計事務所  
登録番号 第11(404)1211号  
許可の有効期間 令和4年 4月30日～令和9年 4月29日

### 産業廃棄物収集運搬業

福島県許可番号 第00701031929号  
許可の有効期間 令和元年10月10日～令和6年10月9日  
運搬車両の種類 ダンプ車 3台 クレーン付キャブオーバー 2台  
軽トラック 2台 脱着式コンテナ専用車 1台 (計8台)  
年間収集運搬量 40.06t (令和5年度)  
廃棄物処理料金 (個別見積もりに依る)

### 営業内容 (許可の種類)

総合建設業 (建築・土木・舗装工事他上記工事に関する一切の業務)  
産業廃棄物収集運搬業 (収集運搬 ※積替え及び保管行為を含まない)  
①廃プラスチック類②紙くず③木くず④繊維くず⑤金属くず  
⑥ガラスくず・コンクリートくず (工作物の新築・改築又は除去に伴って生じたものを除く)  
及び陶磁器くず⑦がれき類  
(これらのうち、石綿含有産業廃棄物を含み、水銀使用製品産業廃棄物、自動車等破砕物及び特別管理産業廃棄物であるものを除く)

## 5. 認証・登録の対象活動範囲

総合建設業及び産業廃棄物収集運搬業 (全組織・全活動)

## 6. 環境活動レポートの対象期間

令和5年5月1日～令和6年4月30日

# 株式会社 山崎組

## EA21実施体制図



役割・責任・権限	
代表者(社長)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営に関する統括責任</li> <li>・環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備</li> <li>・実施体制を構築する</li> <li>・環境方針の策定・見直し及び全従業員へ周知</li> <li>・環境目標・環境活動計画書を承認</li> <li>・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施</li> <li>・環境活動レポートの承認</li> <li>・経営における課題とチャンスを整理し明確にする</li> </ul>
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境経営システムの構築、実施、管理</li> <li>・環境関連法規等の取りまとめ票を承認</li> <li>・環境目標・環境活動計画書を確認</li> <li>・環境活動の取組結果を代表者へ報告</li> <li>・環境活動レポートの確認</li> </ul>
EA21推進委員会	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境管理責任者の補佐</li> </ul>
エコ・アクション21 事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施</li> <li>・環境目標、環境活動計画書原案の作成</li> <li>・環境活動の実績集計</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表の作成</li> <li>・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施</li> <li>・環境関連の外部コミュニケーションの窓口</li> <li>・環境活動レポートの作成、公開(事務所に備付けと地域事務局への送付)</li> </ul>
事務所・現場・産廃部門 (現場統括責任者)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自部門における環境経営システムの実施</li> <li>・自部門における環境方針の周知</li> <li>・自部門の従業員に対する教育訓練の実施</li> <li>・自部門に関連する環境活動計画の実施及び達成状況の報告</li> <li>・特定された項目の手順書作成及び運用管理</li> <li>・自部門における緊急事態対応手順書の作成、テスト・訓練の実施、記録の作成保管</li> <li>・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施</li> </ul>
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚</li> <li>・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加</li> </ul>

## □2023年度環境目標

■制定日 2010年12月1日 ■改定日 2021年5月1日 ■取組期間 2022年5月～2024年4月

### ■環境目標（必須6項目）

項目 \ 年度	単年度目標	中期目標	
	2022年度目標 R4年5月～R5年4月	2023年度目標 R5年5月～R6年4月	2024年度目標 R6年5月～R7年4月
二酸化炭素排出量	基準年(2020年度)比	基準年(2020年度)比	基準年(2020年度)比
廃棄物排出量	2%削減	2.5%削減	3%削減
	(産業廃棄物リサイクル率) 全体の95%以上のリサイクル率を維持する		
総排水量	基準年(2020年度)比	基準年(2020年度)比	基準年(2020年度)比
化学質使用量の削減	2%削減	2.5%削減	3%削減
グリーン購入 (事務用品・日用品)	全体の80%以上のグリーン購入金額を維持する		
製品・サービスへの環境配慮 (ISO14001取得企業からの材料購入)	全体の3%以上の環境配慮材料購入金額を維持する		

### ■環境目標（自主設定）

項目 \ 年度	単年度（2022年度）～中期（2024年度）目標
地域貢献活動協力	クリーンアップ作戦など地域の環境活動に積極的に参加する

## ■本年度環境目標値

### 事務所

※購入電力の排出係数→平成26年度の電気業者別(東北電力㈱)二酸化炭素排出係数:0.573kg-CO<sub>2</sub>/kWh(調整後排出係数)を使用

項目	年度	基準値 (基準:2020年度)	2022年度	2023年度	2024年度
			令和4年5月～令和5年4月	令和5年5月～令和6年4月	令和6年5月～令和7年4月
			目標 %		
二酸化炭素排出量削減 *電気	kg-CO <sub>2</sub> 基準年比	5,177	5,073	5,048	5,022
二酸化炭素排出量削減 *ガソリン		32,284	31,638	31,477	31,315
二酸化炭素排出量削減 *軽油		0	0	0	0
二酸化炭素排出量削減 *灯油		2,370	2,323	2,311	2,299
二酸化炭素排出量削減 *LPG		43	42	42	42
二酸化炭素排出量 事務所 合計 kg-CO <sub>2</sub>		39,874	39,077	38,877	38,678
一般廃棄物の削減 *可燃ごみ(最終処分)	kg 基準年比	273	267	266	264
一般廃棄物の削減 *不燃ごみ(リサイクル)		5	5	4.5	4.5
一般廃棄物の削減 *紙製品(リサイクル)		252	247	246	244
一般廃棄物の削減 *廃プラスチック(リサイクル)		11	10	10.2	10.2
一般廃棄物の削減 *瓶(リサイクル)		9	9	9.1	9
一般廃棄物の削減 *ペットボトル(リサイクル)		4	3.9	3.9	3.9
一般廃棄物排出量 事務所 合計 kg		552.8	541.7	539.0	536.2
一般廃棄物リサイクル率の UP	% 基準年比	51	前年度より UP		
総排水量の削減	m <sup>3</sup> 基準年比	57	56	55.6	55.3
化学物質使用量の削減	t 基準年比	0	0	0	0
グリーン購入 (事務用品・日用品)	% 購入全体の80%以上維持 基準年比	65	80 %以上維持		

工事現場 ※購入電力の排出係数→平成26年度の電気業者別(東北電力㈱)二酸化炭素排出係数:0.573kg-CO<sub>2</sub>/kWh(調整後排出係数)を使用

項目	年度	基準値 (基準:2020年度)	2022年度	2023年度	2024年度
			令和4年5月～令和5年4月	令和5年5月～令和6年4月	令和6年5月～令和7年4月
			目標%		
二酸化炭素排出量削減 *電気(上保原作業所)	kg-CO <sub>2</sub> /現場別売上高(百万)	0.00	0.00	0.00	0.00
二酸化炭素排出量削減 *電気(現場事務所等)	基準年比	2.37	2.32	2.31	2.30
二酸化炭素排出量削減 *ガソリン(R2廃棄物排出量2435.33t)	kg-CO <sub>2</sub> /廃棄物排出量(t)	2.33	2.28	2.27	2.26
二酸化炭素排出量削減 *軽油(R2廃棄物排出量2435.33t)	基準年比	8.60	8.43	8.39	8.34
二酸化炭素排出量(車両燃料)合計	kg-CO <sub>2</sub> /廃棄物排出量(t)	10.93	10.71	10.66	10.60
二酸化炭素排出量削減 *灯油(現場事務所等)	kg-CO <sub>2</sub> /現場別売上高(百万)	0.00	0.00	0.00	0.00
二酸化炭素排出量削減 *LPG(現場事務所等)	基準年比	0.00	0	0	0
二酸化炭素排出量(現場事務所・電気以外)合計	kg-CO <sub>2</sub> /現場別売上高(百万)	0.00	0.00	0.00	0.00
一般廃棄物の削減 *可燃ごみ(最終処分)	kg 基準年比	67.2	65.9	65.5	65.2
一般廃棄物の削減 *不燃ごみ(リサイクル)		17	16	16	16
一般廃棄物の削減 *瓶(リサイクル)		18.0	18	18	17
一般廃棄物の削減 *ペットボトル(リサイクル)		8.3	8.13	8.09	8.05
一般廃棄物の削減 *廃プラスチック(リサイクル)		1.9	1.86	1.853	1.843
一般廃棄物排出量		kg	112.1	109.9	109.3
一般廃棄物リサイクル率のUP	% 基準年比	40	前年度よりUP		
産業廃棄物の削減	t 基準年比	180	177	176	175
産業廃棄物リサイクル率の維持	% 廃棄物排出量全体の95%以上維持	91.79	95%以上維持		
総排水量の削減 (上保原作業所)	m <sup>3</sup> 基準年比	0	0.00	0.0	0.0
総排水量の削減 (現場事務所等)	m <sup>3</sup> /現場別売上高(百万円) 基準年比	0	0	0	0
化学物質使用量の削減	t 基準年比	0	0	0	0
製品・サービスへの環境配慮 (ISO14001取得企業からの材料購入)	% 購入全体の3%以上維持	3.21	3%以上維持		

産廃部門

項目	年度	基準値 (基準:2020年度)	2022年度	2023年度	2024年度
			令和4年5月～令和5年4月	令和5年5月～令和6年4月	令和6年5月～令和7年4月
			目標%		
二酸化炭素排出量削減 (R2産廃収集運搬量62.075t)	kg-CO <sub>2</sub> /廃棄物収集運搬量(t) 基準年比	6.70	6.57	6.53	6.50
			-2	-2.5	-3

# 主な環境活動の取り組み

## 【二酸化炭素排出量の削減】

### ■消費電力の削減

- ・暖房期21℃、冷房期27℃の遵守
- ・不要エリアの消灯
- ・OA機器・家電製品の待機電力の削減

### ■エコ運転の実施

- ・アイドリング停止の徹底
- ・必要最低限の車両での現場移動(相乗り推奨)
- ・無駄な積荷を減らし、少重量での移動推奨

※別頁『エコドライブ10のすすめ』掲載

## 【廃棄物排出量の削減】

### ■廃棄物分別の徹底

- ・再資源化への分別の徹底、廃棄物置き場の整理

### ■紙使用の削減

- ・コピー枚数量の削減(縮小コピー等による使用枚数削減)
- ・OA紙の裏表利用、ミスコピー等の防止

### ■再利用の促進

- ・OA紙の裏面を運転日報・メモ用紙等に使用
- ・使用済み封筒の再利用
- ・紙製品の分別リサイクルを推進し、可燃ゴミを削減

## 【総排水量の削減】

### ■水道使用量の削減

- ・手洗い時の節水(掲示)

## 【化学物質使用量の削減】

### ■化学物質の使用量をなるべく抑えた物質の選択・使用・推進

## 【グリーン購入の推進】

### ■事務用品・トイレトペーパー等日用品等のグリーン商品の積極的な選択・購入

### ■環境に配慮した資材の推進(建設現場における環境に配慮した資材の選択・使用・推進)

## 【地域貢献活動】

### ■事務所前の歩道の清掃・除雪、現場周辺の清掃等

### ■地元地域クリーンアップ作戦等の参加

## 【防災訓練・環境教育】

### ■定期的な避難訓練・社員による環境教育の実施



【事務所内の温度管理】



【不要エリアの消灯確認】



【裏紙の再使用・メモ用紙へ再利用】



【節水ステッカー掲示】



■事務所前歩道の除草作業



■事務所前歩道等の清掃



## エコドライブ10のすすめ

緑の項目は最重点取組項目

1	ふんわりアクセル「eスタート」 「やさしい発進を心がけましょう」	6	暖機運転は適切に 「エンジンをかけたらすぐ出発しましょう」
2	加減速の少ない運転 「車間距離は余裕を持って、交通状況に応じた安全な定速走行に努めましょう」	7	道路交通情報の活用 「出かける前に計画・準備をして、渋滞や道路障害等の情報をチェックしましょう」
3	早めのアクセル・オフ 「エンジンブレーキを積極的に使いましょう」	8	タイヤの空気圧をこまめに チェック 「タイヤの空気圧を適正に保つなど、確実な点検・整備を実施しましょう」
4	エアコンの使用を控えめに 「車内を冷やし過ぎないようにしましょう」	9	不要な荷物は積まずに走行 「不要な荷物を積まないようにしましょう」
5	アイドリング・ストップ 「無用なアイドリングをやめましょう」	10	駐車場所に注意 「渋滞などを招くことから、違法駐車はやめましょう」

※出典「エコドライブ普及連絡会」

# 2023年度(R5年5月～R6年4月期) 環境活動の取組結果

## ■本年度環境実績 (必須6項目)

2023年度 二酸化炭素総排出量	53,517 kg-CO <sub>2</sub>
------------------	---------------------------

事務所 ※購入電力の排出係数→平成26年度の電気業者別(東北電力㈱)二酸化炭素排出係数:0.573kg-CO<sub>2</sub>/kWh(調整後排出係数)を使用

項目	年度	基準値 (2020年度)	2023年度 令和5年5月～令和6年4月				
			(目標) %	(実績)	削減率 %	達成率 %	
二酸化炭素 排出量削減	kg-CO <sub>2</sub> 基準年比	*電気	5,177	5,048 -2.5	4,910	5	103
		*ガソリン	32,284	31,477 -2.5	34,611	-7	91
		*軽油	0	0 -2.5	0	0	100
		*灯油	2,370	2,311 -2.5	1,645	31	140
		*LPG	43	42.2 -2.5	17	60	242
二酸化炭素排出量 事務所 合計 kg-CO <sub>2</sub>			39,875	38,878	41,183	-3	94
一般廃棄物の 削減	kg 基準年比	*可燃ごみ (最終処分)	272.6	266 -2.5	207.8	24	128
		*不燃ごみ (リサイクル)	4.6	4 -2.5	3.5	24	128
		*紙製品 (リサイクル)	251.8	246 -2.5	279.5	-11	88
		*廃プラスチック (リサイクル)	10.5	10 -2.5	8.2	22	125
		*瓶 (リサイクル)	9	9 -2.5	24.6	-165	37
		*ペットボトル (リサイクル)	4	3.9 -2.5	7.0	-75	56
一般廃棄物排出量 事務所 合計 kg			552.8	539	530.6	4	102
総排水量の削減	m <sup>3</sup> 基準年比	57	56 -2.5	42	26	132	
化学物質使用量の削減	t 基準年比	0	0 -2.5	0	-	-	
グリーン購入 (事務用品・日用品)	% 購入全体の80%以上維持 基準年比	65	80	73		-7	

工事現場

※購入電力の排出係数→平成26年度の電気業者別(東北電力側)二酸化炭素排出係数:0.573kg-CO2/kWh(調整後排出係数)を使用

項目		年度	基準値	2023年度			
			(2020年度)	令和5年5月～令和6年4月			
				(目標) %	(実績)	削減率 %	達成率 %
二酸化炭素 排出量削減 *電気	kg-CO2 基準年比	(上保原作業所)	0	0.00	20	-209	0
	kg-CO2/現場別売上高(百万) 基準年比	(現場事務所等)	2.37	2.31	0.00	237	232
二酸化炭素 排出量削減 *車両燃料	kg-CO2/廃棄物排出量(t) 基準年比	*ガソリン(R5廃棄物 排出量 199.0134t)	2.33	2.27	7.36	-216	31
		*軽油(R5廃棄物 排出量199.0134t)	8.6	8.38	40.68	-373	21
二酸化炭素排出量(車両燃料)合計 kg-CO2/廃棄物排出量(t)			10.93	10.65	48.03	-340	22
二酸化炭素 排出量削減 *現場事務所等 電気以外	kg-CO2/現場別売上高(百万) 基準年比	*灯油	0	0.00	0.00	0	100
		*LPG	0	0	0	0	100
二酸化炭素排出量(現場事務所・電気以外)合計kg-CO2/現場別売上高(百万)			0.00	0.00	0.00	0	100
一般廃棄物の 削減	kg 基準年比	*可燃ごみ (最終処分)	67.2	66	75.0	-12	87
		*不燃ごみ (リサイクル)	17	16	0.0	83	1,600
		*瓶 (リサイクル)	18.0	18	0.0	82	1,800
		*ペットボトル (リサイクル)	8.3	8.09	0.0	100	809
		*廃プラスチック (リサイクル)	1.9	1.85	0.0	100	185
一般廃棄物排出量 工事現場 合計 kg			112.1	109.3	75.0	33	146
産業廃棄物の削減		t 基準年比	180.11	176	199.01	-10	88
産業廃棄物リサイクル率の向上		% 廃棄物排出量全体の 95%以上	91.79	95.0	68.78		-26
総排水量の削減	(上保原作業所)	m <sup>3</sup> 基準年比	0.00	0.00	0.00	0	100
	(現場事務所等)	m <sup>3</sup> /現場別売上高(百万円) 基準年比	0.00	0	0.00	0	100
化学物質使用量の削減		t 基準年比	0	0	0	0	100
製品・サービスへの環境配慮 (ISO14001取得企業からの材料購入)		% 購入全体の 3%以上維持	3.21	3	5.46		2

## 産廃部門

項目	年度	基準値 (2020年度)	2023年度 令和5年5月～令和6年4月			
			(目標) %	(実績)	削減率 %	達成率 %
二酸化炭素排出量削減 (R5産廃収集運搬量40.06t)	kg-CO2/産廃物収集運搬量 基準年比	56.92	55.50 -2.5	68.75	-21	81

### 《2023年度期間内実績に対する総評》

#### 【電力】

事務所内においては削減することができ、目標も達成する事が出来ました。

現場においては、工事現場での電気使用がありませんでしたが、作業場での使用に増加がみられました。

事務所及び現場(作業場)内のこまめな節電に心がけていき、少しでも削減につなげられるように心掛け活動していきたい。

#### 【灯油・LPG】

事務所内においての灯油・LPG共に削減傾向がみられ、良い結果となりました。

現場内においては灯油及びLPGの使用はありませんでした。

#### 【ガソリン・軽油】

事務所・現場・産廃において増加傾向となり、目標の達成は出来ませんでした。

ドライブ10のすすめ及びまとまった収集を心掛け削減につなげていきたい。

#### 【廃棄物排出量】

事務所内及び現場内においての総合的に削減傾向となりましたが、事務所内のリサイクル品に増加がみられ、

現場内の最終処分も増加傾向となりました。

#### 【排水量】

現場内の使用はなく、事務所内においては昨年度よりも使用量の削減傾向となりました。

#### 【化学物質使用量】

昨年度同様、使用はありませんでしたので、次年度以降も使用しないように心掛けていきたいです。

#### 【グリーン購入・製品サービスへの環境配慮(ISO14001取得企業からの材料購入)】

グリーン購入に関しては増加もみられましたが、目標の80%以上を達成する事が出来ず、推進購入を心がけていきたいと思います。

環境配慮製品については昨年よりも増加傾向となり、目標の3%以上を達成する事が出来ました。

引き続き推進購入を進めていきたいと思います。

## 環境経営計画及び取組状況の評価

○…達成率

△…概ね達成

×…未達成

環境目標	実施項目	活動の具体的内容	評価
二酸化炭素排出量の削減	消費電力の削減	■暖房期21℃、冷房期27℃の遵守	△
		■不要エリアの消灯	○
		■OA機器・家電製品の待機電力の削減	○
	エコ運転の実施	■アイドリング停止の徹底	○
		■必要最低限の車両での現場移動(相乗り推奨)	○
		■無駄な積荷を減らし、少重量での移動推奨	○
廃棄物排出量の削減	廃棄物分別の徹底	■分別の徹底	○
		■再資源化への分別の徹底、廃棄物置き場の整理	○
		■95%以上の産業廃棄物リサイクル率維持	×
	紙使用の削減	■コピー枚数数量の削減(縮小コピー等による使用枚数削減)	△
		■OA紙の裏表利用、ミスコピー等の防止	△
	再利用の促進	■OA紙の裏面をメモ用紙等に使用	○
		■使用済み封筒の再利用	○
		■紙製品の分別リサイクルを推進し、可燃ゴミを削減	△
	総排水量の削減	水道使用量の削減	■手洗い時の節水(節水ステッカーの貼り付け)
化学物質使用量の削減		■化学物質の使用量をなるべく抑えた物質の選択・使用・推進	○
グリーン購入の推進		■事務用品・トイレトペーパー等日用品等のグリーン商品の積極的な選択・購入	○
環境に配慮した資材の推進		■建設現場における環境に配慮した資材の選択・使用・推進	○
地域貢献活動		■事務所前の歩道の清掃・除雪、現場周辺の清掃等	○
環境教育		■定期的な避難訓練・社員による環境教育の実施	○

## 環境関連法規の遵守状況の確認及び違反、訴訟の有無

○…遵守できた △…一部遵守できなかった ×…遵守できなかった

環境関連法規	遵守状況
国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律(グリーン購入法)	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律(廃棄物処理法:廃掃法)	○
特定建設資材の再資源化に関する法律(建設リサイクル法)	○
フロン類の使用の公理化及び管理の適正化に関する法律(フロン排出抑制法)	○
特定家庭用機器の再商品化に関する法律(家電リサイクル法)	○
使用済み自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法)	○
下水道法	○
騒音規制法	○
振動規制法	○
消防法	○

令和5年度1年間において、環境関連法規への違反、訴訟はありません。

尚、関係当局よりの違反等の指摘は過去3年間ありません。更に、自社で遵守状況をチェックした結果、問題はありません。

また、地域社会等からの苦情による指摘もありません。

## 次年度の取組内容

今年度の環境目標及び環境経営計画の取組結果・評価をふまえ、次年度も引き続き成果を伸ばせるよう取り組んでいきます。

# 代表者の活動結果評価と見直し

環境方針を掲げ進めてきたエコアクション21の取組みも、今年で11年目を迎え、作業活動と環境活動の相乗効果が図れるよう、全社員、環境方針への意識を高めながら環境保全の向上に努めて参りました。

環境目標達成という面からは、今年度は各部門ともバラつきがあり、事務所内のグリーン購入、現場内の産業廃棄物のリサイクル向上及び製品・サービス環境配慮の購入では良い結果が得る事が出来ず、心苦しい結果結果となりました。

各部門共に毎年状況にバラつきもあり、削減の増減はやもを得ない部分もある為、全ての項目において達成を満たす事は出来ませんでした。総合評価の結果を見ると目標を大幅に達成出来た部門もあり、取り組みの結果が反映されているのも確かです。

エコアクション21の取組を始め、廃棄物の分別の徹底や節電などへの全社員の環境意識も年々高まってきているので、今後も更なる意識向上に努め、事務所・工事現場・産廃全ての部門で活動効率と環境効率の両面を上げていけるよう、これからも環境関連法規を遵守し、弊社全体での環境意識の向上に努め、基本理念である『自分たちの職業を通して、より良い環境づくりに貢献』して参りたいと思っております。

令和5年6月30日

株式会社 山 崎 組

代表取締役 山 崎 操

この環境活動レポートは、ご希望の方に差し上げています。ご希望の方は、当社窓口でお申し出いただくか、下記にご連絡下さい。また、エコアクション21中央事務局のHP (<http://www.ea21.jp/>) でもご覧いただけます。

〒960-0671 福島県伊達市保原町東野崎 106 番地 5

株式会社 山崎組

TEL 024-575-2330(代) / E-mail : [yamazakigumi@sirius.ocn.ne.jp](mailto:yamazakigumi@sirius.ocn.ne.jp)